

速報

平成27年度国勢調査人口等集計結果

町民のみなさんのご協力により、平成27年10月1日現在で実施された国勢調査の地方集計結果(概数)がまとまりました。津別町の人口は5,008人、世帯数は2,231世帯です。

【津別町の人口は5,008人、5年前調査から11%減】

今回の地方集計による津別町の人口は5,008人で、前回平成22年の調査と比較すると638人、11%の減少となりました。

人口が最も多かった昭和35年の1万5,676人と今回を比較すると68%の人口減少になっています。

【ほとんどの自治会で人口の減少が拡大】

自治会別で見ると人口が増加している地域は、旭町第1、旭町第2、達美町、活汲第1、高台第2、上美都、双葉、木樋、布川、相生第2の10自治会です。

逆に人口減少の大きく進んでいる地域は、豊永第3、高台町、緑町第2、活汲中央、共和第2、旭町第3の自治会です。豊永第3では75人で26%、高台町では54人で37%と大きな減少となっています。

【世帯数は前回の5.6%減、平均世帯員数も減少】

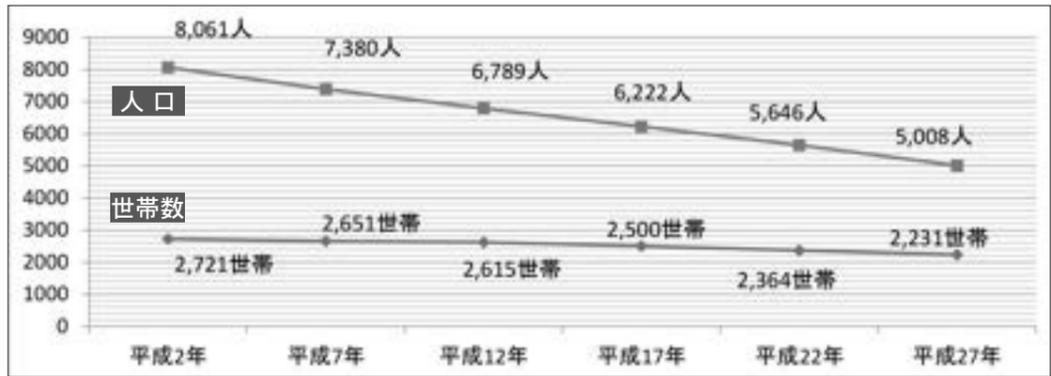
世帯数は、2,231戸で前回調査の2,364世帯と比較すると5.6%、133戸減少しました。

前回の調査に比べ減少率が高いのは緑町第3(21戸・38%、高台町(31戸・36%)、本岐市街(11戸・27%)、相生中央(10戸・20%)、活汲中央(14戸・17%)、豊永第3(18戸・14%)、旭町第3(12戸・11%)となっています。

1世帯あたりの平均世帯員数は2.2人で、核家族化とともに少子高齢化による自然減や就職・進学などによる若年者の流出、高齢者の長期入院などの増加が進んでいることが伺えます。

この調査は今後、国(総務省統計局)において、人口構成や産業、就業構造などの分析が行われ、その結果は、今後の国・都道府県・市区町村の計画の策定などに生かされることとなります。

国勢調査の世帯数と人口の推移



自治会別世帯数と人口 (地方集計)

単位：人・戸

自治会名	世帯数 (前回対比)	人口 (前回対比)	自治会名	世帯数 (前回対比)	人口 (前回対比)	自治会名	世帯数 (前回対比)	人口 (前回対比)
幸町	80 (▲7)	162 (▲32)	豊永第2	129 (▲4)	322 (▲38)	下美都	3 (▲2)	8 (▲6)
本町	66 (▲5)	128 (▲23)	豊永第3	110 (▲18)	218 (▲75)	上里	15 (▲1)	38 (▲6)
西町	75 (▲7)	154 (▲17)	豊永第4	154 (▲4)	337 (▲8)	共和第1	32 (▲3)	65 (▲16)
東町	100 (▲3)	192 (▲23)	東岡	10 (▲0)	28 (▲8)	恩根第1	5 (▲4)	15 (▲13)
新町	56 (▲5)	120 (▲20)	活汲第1	13 (▲0)	52 (▲11)	恩根中央	17 (▲2)	34 (▲10)
旭町第1	93 (▲28)	176 (▲35)	活汲第3	11 (▲2)	36 (▲10)	双葉	9 (▲1)	30 (▲1)
旭町第2	79 (▲29)	160 (▲61)	活汲中央	71 (▲14)	184 (▲45)	沼沢	6 (▲3)	13 (▲8)
旭町第3	94 (▲12)	192 (▲44)	岩富	17 (▲2)	61 (▲4)	本岐市街	30 (▲11)	53 (▲31)
柏町	51 (▲2)	104 (▲29)	東達美	39 (▲1)	106 (▲1)	本岐第2	3 (▲0)	6 (▲0)
高台町	55 (▲31)	92 (▲54)	達美	2 (▲14)	9 (▲35)	木樋	5 (▲0)	30 (▲2)
達美町	31 (▲6)	117 (▲17)	西達美	14 (▲2)	30 (▲7)	二又	4 (▲1)	13 (▲2)
緑町第1	132 (▲10)	245 (▲19)	上最上	5 (▲2)	11 (▲4)	大昭	16 (▲1)	60 (▲12)
緑町第2	87 (▲9)	177 (▲46)	下最上	5 (▲1)	15 (▲1)	布川	12 (▲1)	35 (▲6)
緑町第3	35 (▲21)	77 (▲14)	高台第1	16 (▲2)	52 (▲4)	相生中央	40 (▲10)	69 (▲22)
共和第2	128 (▲3)	320 (▲45)	高台第2	9 (▲0)	32 (▲2)	相生第2	23 (▲2)	46 (▲4)
共和第3	123 (▲0)	260 (▲5)	豊永第1	26 (▲2)	93 (▲11)	合計	2,231 (▲133)	5,008 (▲638)
共和第4	88 (▲7)	206 (▲32)	上美都	7 (▲0)	25 (▲3)			

※地方集計のため、総務省が公表する人口速報集計と相違があり得る。

※世帯数及び人口は、集計方法が異なるため、自治会員数など他の資料と差が生じる場合があります。

平成27年度 町有林事業報告

今年度1月までの概況は、下草の旺盛な成長、カラマツハラアカハバチの発生、11月の大雪などがありましたが、木質バイオマス利用の実証試験を行うなど、新たな方向へ前進しました。

そのような中、町有林管理においては、植付で乾燥が心配されたものの、根つきが良くほほ枯損が発生しませんでした。間伐事業では優良なトドマツ、エゾマツを出材し、高い評価をいただきました。来年度は、T P P 関連、道内のバイオマス発電所稼働等、林業を



とり巻く環境に大きな変化が生じてくると考えております。と

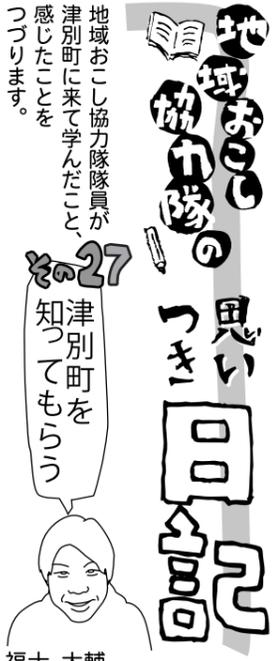
町有林事業も変化に適応し、津別町の森林林業、木材産業へ貢献できるよう努めてまいります。また、植付事業では、株式会社ニトリ様の「ニトリ北海道応援基金」により多大なるご支援を賜り実施いたしました。ご支援を励みに、来年度以降もより良い森林づくりに取り組んで参ります。

問い合わせ先 産業振興課 林政グループ ☎76-2151(内線260)

平成27年度事業報告 (主な事業について)

事業の種類	数量	
委託事業	植付	8.32 ha
	下刈	22.61 ha
	時拵	6.05 ha
	間伐	35.32 ha
	除伐	10.40 ha
売払事業	立木	約2745 m ³
	素材	約1943 m ³

※予定量を含む



福士 大輔

幼い頃から父の影響で自然と触れ合うことが大好きでした。自然豊かな津別町から様々なことを発信していきたい。

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

27

津別町を知ってもらおう

協力隊としての活動期限が、あと残すところ約半年となりました。私は今、津別町を離れ北海道虻田郡ニセコ町という町に来ております。残された活動期限で協力隊として何が出来るのかを考えた結果、私は津別町を離れました。私の現在の活動は『来てもらう』のではなく、『自分から出向き』、津別町の魅力を広めることです。

具体的には、現在冬の北海道において最も観光客の集客があるニセコのスキー場麓にて、移動販売車を使い飲食販売を行っています。そして、この販売車の中で提供している飲食物の野菜は、津別産の野菜を使用させて頂いております。

私の活動を応援し協力して下さった多くの方に感謝しながら、残り半年頑張っていきます。

海外観光客が8割のため、英語での説明書きの用意と、お話出来る方には直接、津別町の魅力を伝えていますが、ニセコや札幌周辺は何回も訪れている方でも、道東には来たことがないことが多く、津別町の名前すら知らない方がほとんどです。

しかし、お話をすると興味を持たれ、今度行ってみたいと思うという方もいらっしゃると思います。まずは名前だけでも知ってもらおう、興味を持ってもらおう、そこからだと思っています。津別町にいるだけでは出会えなかつた沢山の方に、まずは知ってもらおう。

私の活動を応援し協力して下さった多くの方に感謝しながら、残り半年頑張っていきます。